

OISDE ラオス事業報告 第二回

こんにちは。**OISDE** ラオス事務所長の持田です。事業報告の第二弾となります。

NGO 連携無償資金協力の資金を在ラオス日本国大使館より受領しましたので、本格的な改装工事を開始致しました。対象となる建物は、首都ビエンチャンにあり、ラオス唯一の医師・歯科医を育成する教育機関であるヘルス・サイエンス大学のキャンパス内にあります。同建物を改装し、全国の看護師を招聘して教育を施すための実習センターを建設します。

ラオスの道路工事現場では、アスファルトを圧接する大きな車両が、普通に歩行者や車の横を走っています。日本の警備会社では安全を最優先に心掛けているのが分かりますが、ラオスではクレーン車が普通に路上で回転しています。

もちろん、私どもの事業では安全を最優先事項と考え、対象の建物の周囲に塀を作り、キャンパス内の教員や学生が入れないようにしています。改装ですので、建物すべてを取り壊すことはしませんが、一部壁を壊して講義部屋を拡大するなどの工事があるため、建物全体を塀で覆っています。



歯学部長（左から2番目）部屋で
キックオフ



安全のため周囲に塀を設置